



## 《会計・税務の知識》

## ベンチャー企業経営の基本 ～決算書の感じ方・貸借対照表編～

会社を経営するには、会社の各種数値を把握する必要があるのは言うまでもありません。その基礎となるのが決算書の理解です。そこで、ベンチャー企業経営にとって必須スキルである、決算書の読み方をご説明したいと思います。

ただし、今回は小難しい読み方というものではなく、決算書を感じてみたいと思います。

## 1. 貸借対照表とは

決算書には、貸借対照表と損益計算書があるのはご存知かと思います。今回は貸借対照表に焦点を絞って説明します。

貸借対照表 (Balance Sheet、略してB/S) とは、会社のある時点での財政状態を表すものです。会社の資産と、その資産の裏付けとなる負債及び純資産に区分して、表にしてあります。

まず、貸借対照表のよくある図を下記に示します。

貸借対照表

資産	負債
	純資産(資本)

表を見て頂ければわかるとおり、左側が資産、右側が負債と純資産に区分されています。そして、

$$\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産}$$

となります。

これは、会社にどこからお金が入ってきたか(調達源泉)を負債と純資産で表し、入ってきたお金をどう使っているか(運用状況)を資産として表しているのです。

つまり、お金を負債(他人からの借入、いわゆる他人資本)か純資産(資本金や利益剰余金、いわゆる自己資本)によって調達して、現金や棚卸資産や固定資産等の資産で運用している、ということを表示しているのです。

## 2. 実際に感じてみよう

では実際に貸借対照表を感じて頂きます。今回は比較しやすいよう、上場している自動車会社3社の貸借対照表を先ほどのボックス図で表現してみます。

登場頂くのは、日産自動車、本田技研工業、マツダです。①の貸借対照表の資産の金額を基準にそれぞれの比でボックス図を作成してみました。

①

資産	負債
	純資産

②

資産	負債
	純資産

③

資産	負債
	純資産

さて、どの貸借対照表がどの会社のものかお分かりになりますでしょうか。

それぞれの会社の状況が浮かんできますね。

正解は①日産自動車、②本田技研工業、③マツダです。①と②はほぼ同尺度のボックスですが、やや②の方が資産が大きく、負債が少ないようです。③は他2社と比べてかなり小さい会社で、負債の比率も大きいようです。

自動車と言えば、もう1社日本を代表する会社があることにお気づきの方もいらっしゃるでしょう。そうですトヨタ自動車です。実はこの図を作成する際に、トヨタは他社と比較して資産が3倍もあることが判明し、ここで比較するにはあまりに大きかったのです。

感じて頂きましたでしょうか、次回は損益計算書編でお会いしましょう。

(担当: 豊山 忠明)